

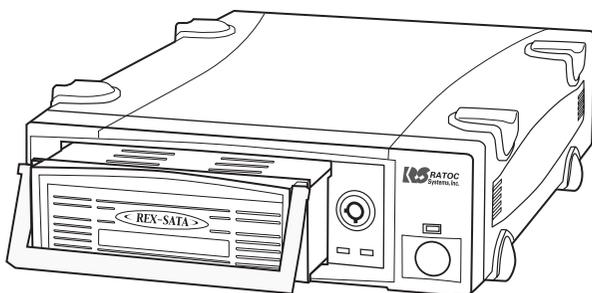
〈REX-SATA〉シリーズ

eSATA/USB2.0 リムーバブルケース (外付け1ベイ)

SA-DK1EU

ユーザーズマニュアル

2009年6月 第3.1版



本製品を正しく安全にお使いいただくため
ご使用前に必ず本書をよくお読みください。

ラトックシステム株式会社

 **RATOC Systems, Inc.**

〈ご注意〉

1. 本書の著作権はラトックシステム株式会社にあります。
 2. 本書の内容につきましては万全を期して作成しておりますが、万一不審な点や誤りなどお気づきになりましたらご連絡お願い申し上げます。
 3. 本書の運用により生じた結果の影響については、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
 4. 本書の一部または全部を無断で使用・複製することはできません。
 5. 本書の内容は、将来予告なく変更する場合があります。
- “REX”は株式会社リコーが商標権を所有しておりますが、弊社はその使用許諾契約により本商標の使用が認められています。
 - Windowsは米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
 - Apple, Mac, Mac OSは、Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
 - その他本書に記載されている商品名/社名などは、各社の商標または登録商標です。なお本書では、™、®マークは明記しておりません。

目次

●	安全にご使用いただくために	2
1	はじめに	3
	-1. 内容物の確認	3
	-2. 動作環境	4
	-3. 各部の名称	4
	-4. 本製品が使えるようになるまでの手順	5
	-5. 使用上の注意	5
2	取り付け方法	6
	-1. SATAハードディスクをトレイに取り付け	6
	-2. パソコンへの接続	8
3	動作の確認	9
4	パソコン使用中におけるトレイの交換/製品の取り外し	10
	-1. Windowsの場合	10
	-2. Mac OSの場合	11
5	ハードディスクのフォーマット	12
	-1. Windows Vista/XP/2000/Server 2003でのフォーマット	12
	-2. Windows Meでのフォーマット	14
	-3. Mac OS X 10.2.8以降でのフォーマット	15
	-4. Mac OS 9.2.2でのフォーマット	15
6	ユーティリティソフトのご案内	16
7	お問い合わせ	17
	-1. 本製品に関するお問い合わせ	17
	-2. プロダクトキーについて	17
	-3. 修理について	18
8	オプション品のご案内	19
9	一般仕様	20
●	SA-DK1EU 質問用紙	

安全にご使用いただくために

本製品は安全に充分配慮して設計をおこなっていますが、誤った使い方をすると火災や感電などの事故につながり大変危険です。ご使用の際は、警告/注意事項を必ず守ってください。

表示について

この取扱説明書は、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、火災や感電などにより、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、感電やその他の事故により、人が負傷または物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。



警告

- 製品の分解や改造等は、絶対におこなわないでください。
- 無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重い物を載せることはおこなわないでください。
- 製品が水・薬品・油等の液体によって濡れた場合、ショートによる火災や感電の恐れがあるため、使用しないでください。



注意

- 本製品は電子機器ですので、静電気を与えないでください。
- ラジオやテレビ、オーディオ機器の近く、モーターなどのノイズが発生する機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
- 高温多湿の場所、温度差の激しい場所、チリやほこりの多い場所、振動や衝撃の加わる場所、スピーカ等の磁気を帯びた物の近くで保管・使用しないでください。
- 煙が出たり異臭がする場合は、直ちにパソコンや周辺機器の電源を切り、電源ケーブルもコンセントから抜いてください。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送機器など人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故/火災事故/その他の障害が発生した場合、いかなる責任も負いかねます。
- 万一の事態に備えて、本製品をご使用になる前にパソコンのハードディスクや本製品に使用するハードディスク内に保存されているデータやプログラムのバックアップをおこなうことを推奨します。ハードディスクが破損したことによる損失、逸失利益等が発生した場合でも、いかなる責任も負いかねます。
- 取り付け時、鋭い部分で手を切らないよう、充分注意して作業をおこなってください。
- 配線を誤ったことによる損失、逸失利益等が発生した場合でも、いかなる責任も負いかねます。

1 はじめに

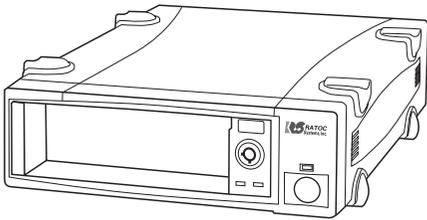
この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

本書は本製品の導入ならびに運用方法を説明したマニュアルです。正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず本書をよくお読みください。また、お読みになった後も本書は大切に保管してください。

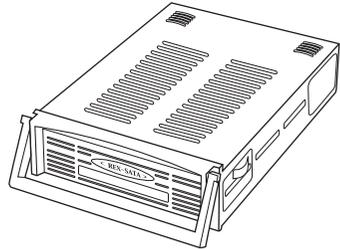
1-1. 内容物の確認

パッケージの中に下記の物がすべて揃っているかご確認ください。

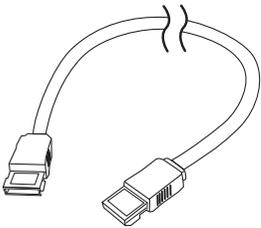
万一不足がありましたら、お手数ですが弊社サポートセンターまたは販売店までご連絡ください。



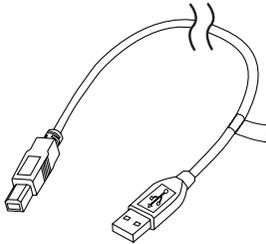
● リムーバブルケース本体



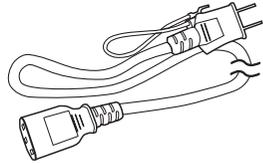
● SATAハードディスク
交換用トレイ



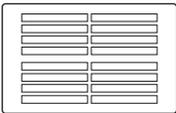
● eSATAケーブル(100cm)



● USBケーブル(100cm)



● ACケーブル



● インデックスシール



● ユーザーズマニュアル
(本書)



● 保証書

※※ 交換用トレイ内 添付品 ※※



● ロックキー×2



● ハードディスク
取付ネジ×4



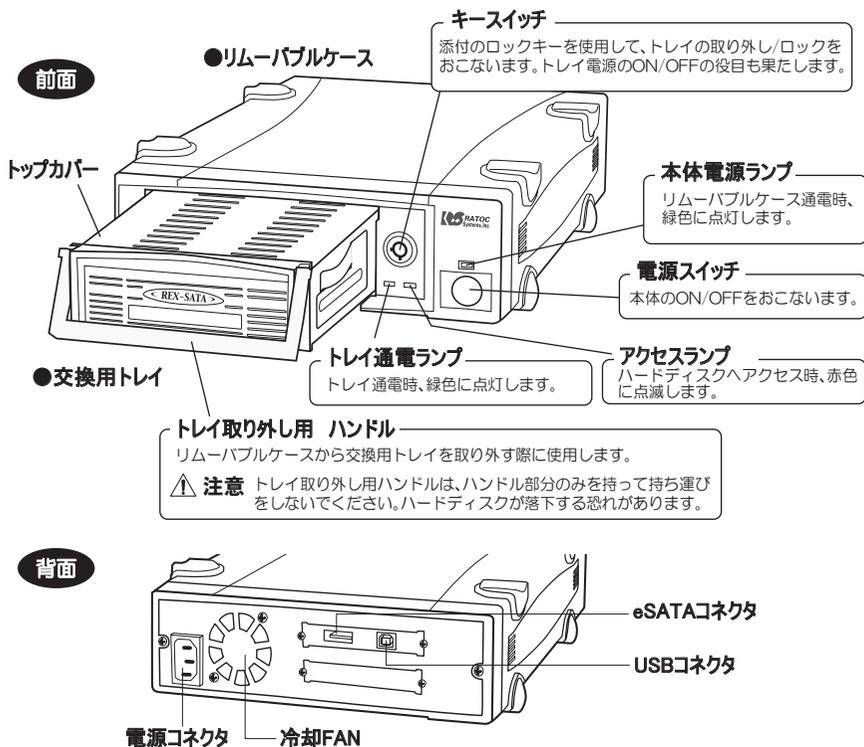
● コネクタガード

※コネクタガードは、トレイ未使用時、トレイ背面のSATA信号/電源一体型コネクタを保護するためのものです。

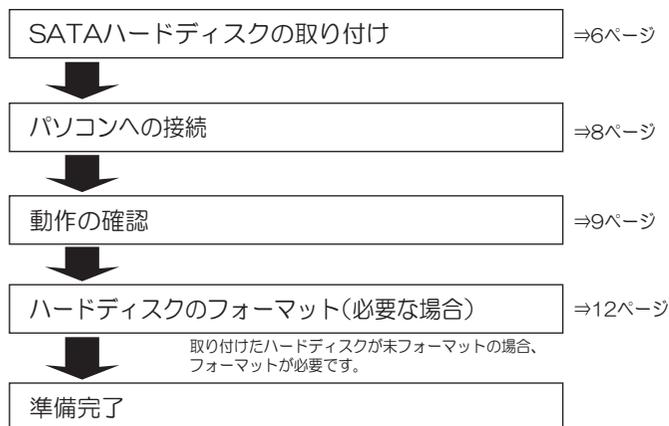
1-2. 動作環境

- ◆ 対応OS: 【eSATA】・Windows Vista/XP/2000/Server 2003
※Windows Vista/XP/Server 2003は、64ビット版にも対応。
・Mac OS X 10.4以降
- 【USB】・Windows Vista/XP/2000/Me/Server 2003
※Windows Vista/XP/Server 2003は、64ビット版にも対応。
・Mac OS X 10.2.8以降
・Mac OS 9.2.2 (Mac OS 9.2.2ではUSB1.1での使用となります)
- ◆ 対応機種: 【eSATA】 eSATAポートを標準装備、もしくはeSATAインターフェイスカードを搭載したWindows PCまたはMac
※VIA VT8237/VT8237R/VT6420/VT6421L、SIS964/SIS760チップセットのSATAポートでは使用できません。別途SATAホスト(弊社製REX-PCI15PMなど)をご用意ください。
※Mac OSでeSATA接続する場合、弊社製eSATAインターフェイス(REX-PE32S/PE30S/EX30S/PCI15PM)が必要です。
- 【USB】 USBポートを標準装備、もしくはUSBインターフェイスカードを搭載したWindows PCまたはMac
- ◆ 対応ドライブ: 3.5インチ SATA対応ハードディスク
※次のハードディスクは使用できません。「Seagate Barracuda 7200.9 (ST3500641AS)」

1-3. 各部の名称



1-4. 本製品が使えるようになるまでの手順



1-5. 使用上の注意

- 3Gbps対応ハードディスクを接続した場合、1.5Gbpsでの転送となります。
- 次のハードディスクは使用できません。「Seagate Barracuda 7200.9 (ST3500641AS)」
- VIA VT8237/VT8237R/VT6420/VT6421L、SiS964/SiS760チップセットのSATAポートでは使用できません。別途SATAホスト(弊社製REX-PCI15Sなど)をご用意ください。
- Mac OSでeSATA接続する場合、弊社製eSATAインターフェイス(REX-PE32S/PE30S/EX30S/PCI15PM)が必要です。
- eSATAとUSBを同時に接続(使用)することはできません。
- USB接続の場合、USB2.0でご利用になるには、ご使用のUSBインターフェイスがUSB2.0に対応している必要があります。
- USB接続の場合、本製品に取り付けたハードディスクからOS起動(システム起動/ブート)はできません。
- eSATA接続の場合、本製品に取り付けたハードディスクからOS起動(システム起動/ブート)をおこなうには、ご使用のeSATAインターフェイスがOS起動に対応している必要があります。
- eSATA接続の場合、パソコンを起動したままトレイの交換をおこなうには、ご使用のeSATAインターフェイスがホットプラグに対応している必要があります。
- eSATA接続の場合、NCQ(Native Command Queuing)を使用するには、NCQ対応のハードディスクとホストインターフェイスが必要です。
- 本製品の電源は、パソコンの電源と連動しません。
- 弊社製REX-Dockシリーズ用トレイは使用できません。
- 他社製のトレイは使用できません。
- 本製品の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- 製品改良のため、将来予告なく外観または仕様の一部を変更する場合があります。
- 本製品は日本国内仕様となっており、海外での保守及びサポートはおこなっておりません。
- 本製品を廃棄するときは地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については各地方自治体にお問い合わせください。
- 本製品の保証や修理に関しましては、添付の保証書に内容を明記しております。必ず内容をご確認の上、大切に保管してください。

2 取り付け方法

下記の手順で、本製品の取り付けをおこなってください。

1.【SATAハードディスクをトレイに取り付け】：

2.【パソコンへの接続】：

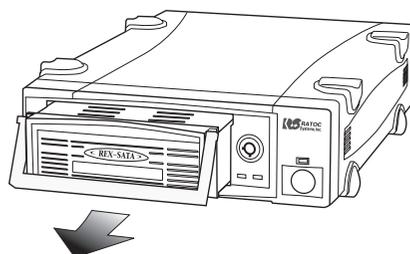
- I .eSATA接続の場合
- II .USB接続の場合

⚠ 注意

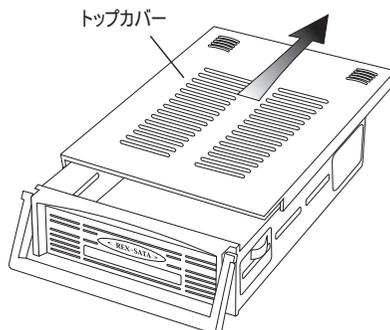
- eSATAとUSBを同時に接続(使用)することはできません。
- 各ケーブルの接続は、コネクタの向きに注意して確実に接続してください。
- 取り付け手順は必ずお守りください。異なる手順で取り付けをおこなった場合、ハードディスクが破損する恐れがあります。
- ハードディスクが破損したことによる損失、逸失利益などの請求につきましては、いかなる責任も負いかねますので、ご注意ください。

2-1. SATAハードディスクをトレイに取り付け

1. トレイ取り外し用ハンドルを持ち、“交換用トレイ”を矢印の方向へ引き出してください。



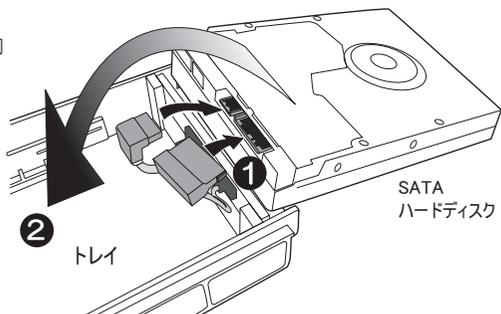
2. トレイのトップカバーを取り外します。矢印の方向にスライドさせてください。



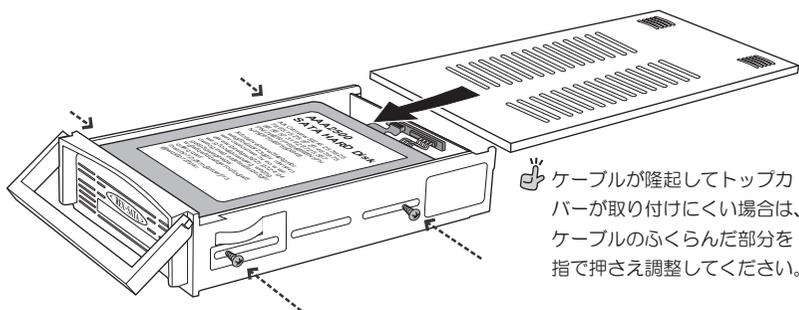
3. トレイにSATAハードディスクを装着します。

①ハードディスクを裏返し、トレイ内のケーブルを接続します。

②ハードディスクを表返しにしてトレイに収納してください。



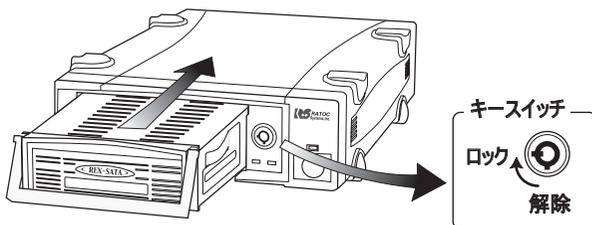
4. ハードディスクを同梱のネジでしっかりと止め、トップカバーを取り付けてください。



⚠ 注意

トップカバー等でケーブルを挟むと、断線する恐れがありますのでご注意ください。

5. 再度、トレイをリムーバブルケースに挿し込み、キースイッチをロックしてください。



⚠ 注意

トレイの取り付けは、ゆっくりと確実に奥まで挿し込んでください。
コネクタが合っていない場合、無理に挿し込むとコネクタが破損します。

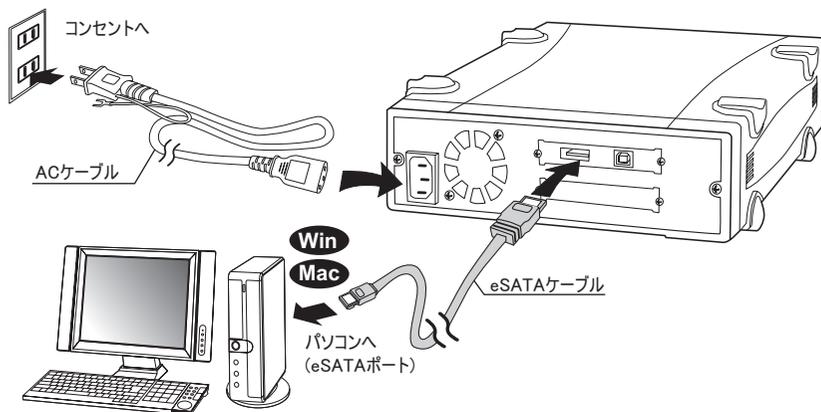
2-2. パソコンへの接続

eSATAケーブルもしくはUSBケーブル、ACケーブルを、それぞれ下図を参考に接続してください。

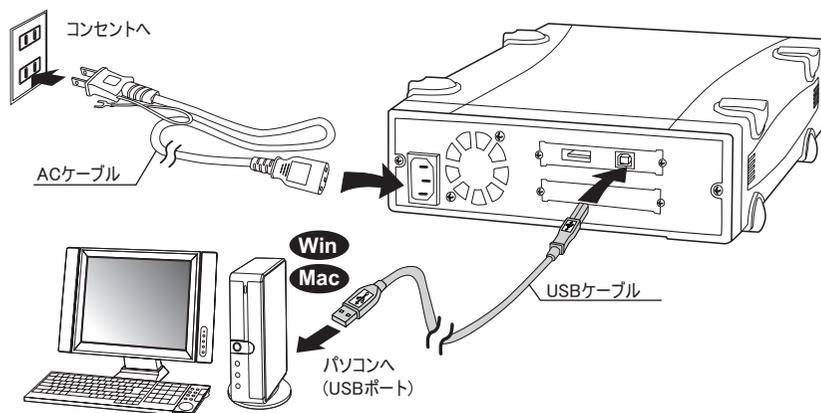
⚠ 注意

- eSATAとUSBを同時に接続(使用)することはできません。
- 添付のeSATAケーブルは100cmです。別途eSATAケーブルを購入される場合は、100cm以下でeSATA規格準拠品をご購入ください。
- 各ケーブルの接続は、コネクタの向きに注意して確実に接続してください

I. eSATA接続の場合



II. USB接続の場合



以上で製品の取り付けは完了です。次章 **3**「動作の確認」へ進んでください。

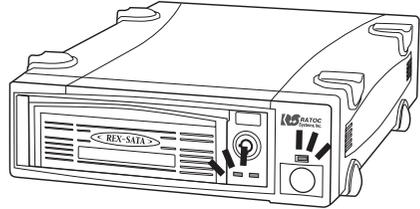
3

動作の確認

1. 本製品が正しく認識されるか確認します。
リムーバブルケースの電源スイッチをON、続けてパソコンの電源をONにしてください。
2. リムーバブルケースの本体電源ランプ、およびトレイ通電ランプが点灯(緑色)しているか確認してください。



- 本体電源ランプが点灯しない場合、電源スイッチがONになっているか、ACケーブルが正しく接続されているかを、もう一度、確認してください。
- トレイのキースwitchがロックされていないと、トレイには通電(ハードディスクにアクセス)されません。



3. “マイコンピュータ”(Windows Vistaでは”コンピュータ”、Mac OSは“デスクトップ”)に、新しいハードディスクのアイコンが表示されているか確認してください。

(Windowsの場合)



ローカルディスク (F:)



ローカルディスク (F:)



ローカルディスク (F:)

(Mac OSの場合)



eSATA接続時



eSATA接続時



USB接続時



USB接続時



- ボリューム名・ドライブ文字(D、E等)は、お客様のパソコン環境により異なります。
- 未フォーマットのハードディスクを装着された場合は、上記のアイコンは表示されません。
- ⑤「ハードディスクのフォーマット」を参照して、フォーマットをおこなってください。



Mac OSで「読み取れないディスク」「初期化しますか？」などのメッセージが表示された場合

ハードディスクがフォーマットされていないか、Mac OSでは使用できない形式でフォーマットされています。

フォーマットする場合は「初期化」をクリックします。

- ① 初期化すると、Mac OSで使用できるようになりますが、ディスク上のデータはすべて消去されます。



以上で動作確認は完了です。

次章 ④「パソコン使用中におけるトレイの交換/製品の取り外し」をお読みになった上で、本製品をお使いください。

4 パソコン使用中におけるトレイの交換/製品の取り外し

トレイの交換/製品の取り外しは、下記の手順で作業をおこなってください。

⚠ 警告

- 交換/取り外し作業をおこなう際は、必ず手順に従ってください。異なる手順で無理に交換/取り外しをおこなうと、ハードディスクの破損、または記録データが損失する場合があります。
- 起動ディスクとしてご使用の場合、必ずパソコンの電源を切ってから交換/取り外しをしてください。

1. 【Windowsの場合】:

- I .eSATA接続時 ⇒10ページ(本ページ)
- II .USB接続時 ⇒11ページ

2. 【Mac OSの場合】: ⇒11ページ



パソコンの電源OFF時は、トレイの交換/製品の取り外しを自由におこなうことができます。

4-1. Windowsの場合

I. eSATA接続の場合

ご使用のeSATAインターフェイスがホットプラグに対応している場合、Windows標準の“ハードウェアの取り外し”で、トレイの交換/製品の取り外しをおこなうことができます。

ご使用のeSATAインターフェイスがホットプラグに対応していない場合、必ず、パソコンの電源を切ってから、トレイの交換/製品の取り外しをおこなってください。

👉 ご注意

ご使用のeSATAインターフェイスにホットプラグ用のソフトが同梱されている場合は、その方法に従ってください。

1. タスクバー通知領域の“ハードウェアの安全な取り外し”(①)アイコンをクリックし、続けて表示された「****を安全に取り外します」のメッセージ(②)をクリックします。



※表示されるドライブ名は、内蔵するハードディスクにより異なります。

2. 下記のメッセージが表示されますので、トレイの交換/製品の取り外し(次ページ<図説>参照)をおこなってください。



II. USB接続の場合

1. タスクバー通知領域の“ハードウェアの安全な取り外し”(①)アイコンをクリックし、続けて表示されたメッセージ(②)をクリックします。

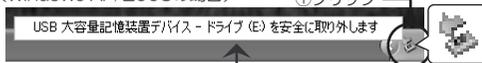
※表示されるドライブ名は、内蔵するハードディスクにより異なります。

(Windows Vistaの場合)



②クリック

(Windows XP/2003の場合)



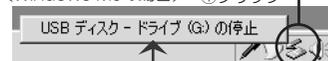
②クリック

(Windows 2000の場合)



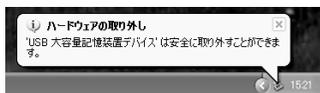
②クリック

(Windows Meの場合)



②クリック

2. “安全に取り外すことができます”といった内容のメッセージを確認します。Windows Vista/2000/Meは【OK】をクリックします。



(画面はWindows XPの場合)



(画面はWindows Vistaの場合)

3. トレイの交換/製品の取り外し(下記<図説>参照)をおこなってください。

4-2. Mac OSの場合

eSATA接続時、USB接続時とも同じ手順です。

1. ハードディスクのアイコンをゴミ箱に捨てます。



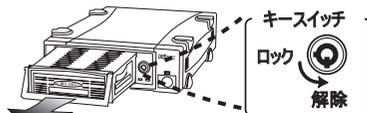
※アイコン表示は接続方法や環境によって異なります。

2. トレイの交換/製品の取り外し(下記<図説>参照)をおこなってください。

<図説>

トレイの交換

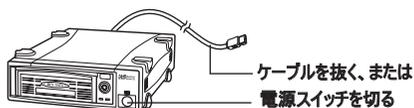
キースwitchのロックを解除して、トレイを取り外してください。



👉 トレイの交換後キースwitchを“ロック”することにより、再びドライブが表示されます。

製品の取り外し

製品の電源を切るか、ケーブルを抜いてください。



👉 取り付けたいときは、パソコン電源を入れたまま、ケーブルを接続するか、製品の電源を入れると再びドライブが表示されます。

5 ハードディスクのフォーマット

本製品に**未フォーマット**のハードディスクを取り付けた場合、フォーマット作業が必要です。下記手順に従ってフォーマットをおこなってください。

1. **【Windows Vista/XP/2000/Server 2003でのフォーマット】**：
Windows標準のディスクユーティリティ(ディスクの管理)を使用します。
2. **【Windows Meでのフォーマット】**：
フォーマットユーティリティを使用します。(弊社よりダウンロード提供)
3. **【Mac OS X 10.2.8以降でのフォーマット】**：
Mac OS標準のフォーマットユーティリティを使用します。
4. **【Mac OS 9.2.2でのフォーマット】**：
Mac OS標準のフォーマットユーティリティを使用します。

⚠ 警告

フォーマットをおこなうと、すべてのデータは消去されます。フォーマットを実行する際、選択ドライブに間違いがないかよくご確認ください。

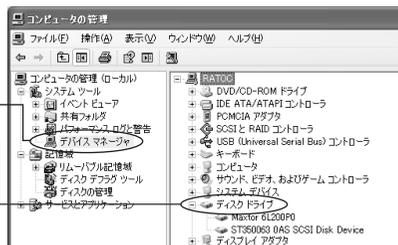
5-1. Windows Vista/XP/2000/Server 2003でのフォーマット

※画面は、Windows XPで説明しています。他のOSでは若干異なります。

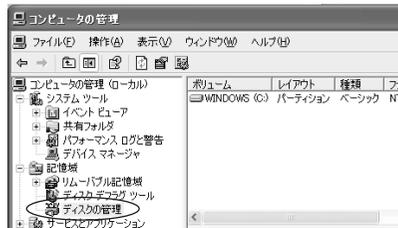
1. [スタート]→[マイ コンピュータ(Windows Vistaはコンピュータ、Windows 2000はデスクトップ上のマイ コンピュータ)] を右クリックし、[管理]を選択します。
※Windows Vistaでユーザーアカウント制御のメッセージが表示された場合、[続行]をクリックしてください。

2. 「デバイスマネージャ」でドライブが認識されているか確認します。

- ① デバイスマネージャを選択
- ② 「ディスクドライブ」をダブルクリックして開く
接続しているハードディスクが表示されている場合、接続機器は正しく認識されています。

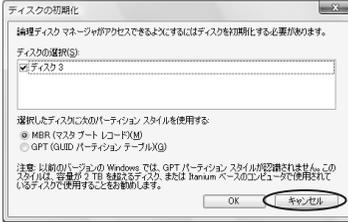


3. 「ディスクの管理」を選択します。

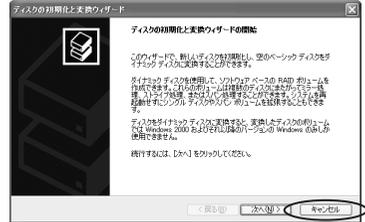


4. “ディスクの初期化”のメッセージが表示される場合がありますが、【キャンセル】してください。

Windows Vistaの場合



Windows XP/2000/Server 2003の場合

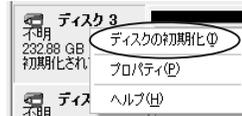


5. ドライブをフォーマットします。

① 「初期化されていません」または「オフライン」のドライブがある場合は、初期化します。



1. ディスク(例ではディスク3)を右クリックし「ディスクの初期化」を選択

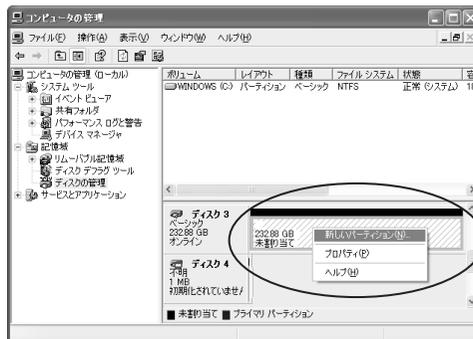


2. 初期化するディスク(例ではディスク3)にチェックを入れ【OK】をクリック



② ドライブをフォーマットします。

未割り当てのドライブを右クリックし、「新しいパーティション」(Windows Vistaは「新しいシンプルボリューム」)を選択してフォーマットをおこないます。



5 -2. Windows Meでのフォーマット

本製品に未フォーマットのハードディスクを取り付けた場合、「マイコンピュータ」に、新しいハードディスクのアイコンは表示されません。このため、Windows標準のフォーマットを使用することができません。弊社よりダウンロード提供する「フォーマットユーティリティ」にてフォーマットをおこなってください。

【フォーマットユーティリティの使い方】

フォーマットユーティリティ「SA-DK1EU/RS-EC5EU Windows Me用」を、弊社ホームページよりダウンロードしてください。ダウンロードしたEXEファイルを実行すると、インストールが開始されます。

フォーマットユーティリティの使い方は、「共通ユーティリティガイド」を弊社ホームページよりダウンロードして参照ください。



- フォーマットユーティリティのダウンロード
「SA-DK1EU/RS-EC5EU Windows Me用」
<http://www.ratocsystems.com/services/driver/dock/sadk1eu.html>
- フォーマットユーティリティのマニュアルダウンロード
「共通ユーティリティガイド」
<http://www.ratocsystems.com/services/manual/common.html>

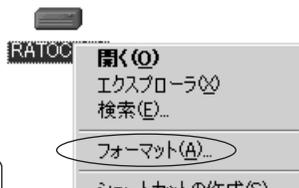
【Windows標準のフォーマット方法】

“マイコンピュータ”に、ハードディスクのアイコン表示がある場合は、OS標準のフォーマットを使用できます。

1. [マイ コンピュータ]をクリックします。
2. ハードディスクのアイコンを右クリックして、[フォーマット]を選択します。



「マイ コンピュータ」にハードディスクが表示されていない場合は、フォーマットユーティリティにてフォーマットをおこなってください。



5-3. Mac OS X 10.2.8以降でのフォーマット

Mac OS標準のフォーマットユーティリティを使用します。

1. [Macintosh HD]- [アプリケーション]- [ユーティリティ]を開き、ディスクユーティリティをダブルクリックします。



ディスクユーティリティ

2. パーティション作成を実行します。(フォーマットも同時に実行されます)

- ①フォーマットするハードディスクを選択

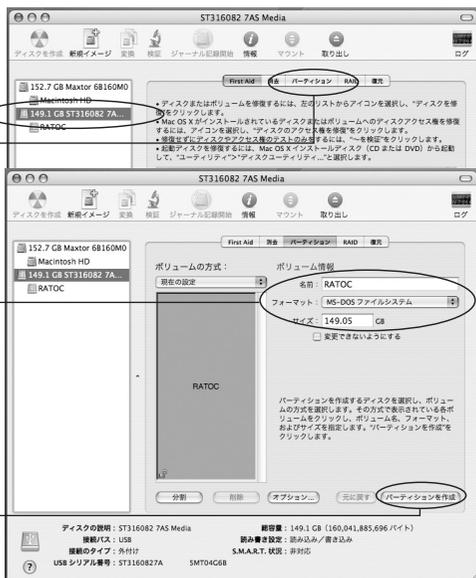
- ②[パーティション]タブをクリック

- ③ボリューム情報を設定



Windows PCでもハードディスクを使用する場合は、[フォーマット:]でMS-DOSファイルシステムを選択します。

- ④[パーティションを作成]をクリック



3. デスクトップにハードディスクアイコンが表示されます。



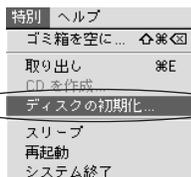
5-4. Mac OS 9.2.2でのフォーマット

Mac OS標準のフォーマットユーティリティを使用します。

1. デスクトップにあるハードディスクアイコンを選択します。



2. メニューバーから[特別] - [ディスクの初期化]を選択します。



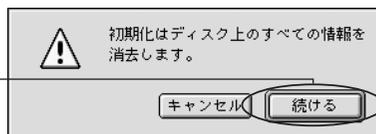
3. ディスクを初期化します。

①名前(ボリューム名)を入力

②フォーマットを選択

③[初期化]をクリック

④[続ける]をクリック



OSが認識できないディスクを接続した場合は、画面の指示に従って初期化をおこないます。
※本書 9ページ「Mac OS でハードディスクを認識時、「読み取れないディスク」「初期化しますか?」などのメッセージが表示された場合」を参照ください。

6 ユーティリティソフトのご案内

本製品のユーティリティとして、S.M.A.R.T.コマンド対応のハードディスクから内部温度情報を読み出して監視が可能な、「S.M.A.R.T. 温度監視ユーティリティ」(Windows Vista/XP/2000 用)を提供しております。

本製品とぜひ合わせてご使用ください。

このソフトのダウンロード、使用方法等、その他詳しい内容は下記アドレスを参照してください。

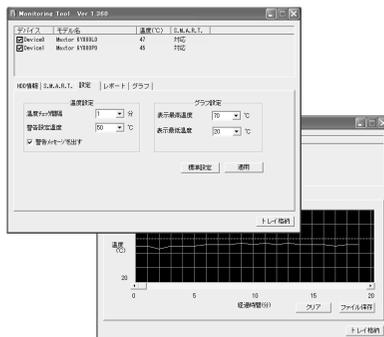
<http://www.ratocsystems.com/services/driver/dock/sack1eu.html>

■温度監視ユーティリティの主な機能

1. 接続しているSATA、又はIDE ハードディスクドライブの情報表示
2. S.M.A.R.T.機能を備えたハードディスクドライブの属性と値の一覧表示
3. S.M.A.R.T.機能によるハードディスクドライブの温度チェックと警告表示
4. ハードディスクドライブの状態ログレポート表示および保存
5. ハードディスクドライブの温度変化グラフ表示および保存

■対応OS

Windows Vista/XP/2000



7

お問い合わせ

7-1. 本製品に関するお問い合わせ

本製品に関するご質問がございましたら、下記弊社サポートセンターまでお問い合わせください。お問い合わせの際には、巻末の「質問用紙」に必要事項をご記入のうえ、下記FAX番号までお送りください。折り返し、電話またはFAX、メールにて回答いたします。なお、ご質問に対する回答は下記営業時間内とさせていただきますのでご了承ください。また、ご質問の内容によりましては弊社にてテスト/チェック等をおこなう関係上、回答までに時間を要する場合もございますので、予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

ラトックシステム株式会社 サポートセンター

〒556-0012 大阪市浪速区敷津東1-6-14 朝日なんばビル
TEL 大阪:06-6633-0190 東京:03-5207-6410
FAX:06-6633-3553 (FAXは24時間受付)

営業時間 月曜～金曜 10:00～13:00、14:00～17:00
土曜・日曜・祝日及び弊社指定の休日を除く

ホームページで最新の情報をお届けしております。
またホームページ上からのご質問・お問い合わせも可能です。
<http://www.ratocsystems.com/>

7-2. プロダクトキーについて

弊社では、プロダクトキーと呼ばれる16桁の認証コードを、1製品につき1個発行しています。プロダクトキーは、製品に添付されている保証書のシリアル番号欄に製品シリアル番号とともに印字されています。

(例) Product Key: NMft-DWQC-XtYg-Q8MA

このプロダクトキーは、正規ユーザであるかどうかの認証が必要な場合に認証キーとして使用されます。プロダクトキーによる認証をおこなう場合は、プロダクトキーのみでユーザ認証をおこない、ユーザ登録のような個人情報の登録が無くてもダウンロードの実行が可能となります。

詳しくは、弊社Webサイト(<http://p-key1.ratocsystems.com/>)をご覧ください。



ご注文の際、プロダクトキーが必要なオプションもありますので、紛失しないように大切に保管してください。
※プロダクトキーは再発行されません。

7-3. 修理について

万一故障した場合は、本製品に添付の保証書記載内容に基づいて修理致します。
故障と思われる症状が発生した場合は、まず本書を参照し、接続や設定が正しくおこなわれているかどうかご確認ください。現象が改善されない場合は、弊社ホームページの下記アドレス「修理について」を参照し、弊社修理センター宛に製品をお送りください。
また修理に関してご不明な点がございましたら、弊社サポートセンターまでご相談ください。

〈製品送付先〉 ラトックシステム株式会社 修理センター
〒556-0012 大阪市浪速区敷津東1-6-14 朝日なんばビル
TEL:06-6633-0190

〈送付頂くもの〉 ・本製品の保証書の原本
・製品
・質問用紙（本書巻末の「質問用紙」に現象を明記してください。）

〈送付方法〉 宅急便等、送付の控えが残る方法でお送りください。
弊社への修理品の送料は、送り主様でご負担ください。返送の費用は、弊社が負担いたします。
輸送中の事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。

〈修理費用〉 保証書に記載の保証期間・条件のもと、有償となる場合があります。
詳細は保証書をご覧ください。

修理についてのご案内

<http://www.ratocsystems.com/services/repair/contents.html>

8

オプション品のご案内

オプション品のご注文は、ラトックダイレクトにて承ります。

<http://rps.ratocsystems.com/>

●REX-SATAシリーズ専用 交換用トレイ

型番	品名
SA-35TRA-LG	交換用トレイ (アルミ・ライトグレー)
SA-35TRA-BK	交換用トレイ (アルミ・ブラック)
SA-35TR-LG	交換用トレイ (ライトグレー) ※1、※2
SA-35TR-BK	交換用トレイ (ブラック) ※1、※2
SA-35TR-WH	交換用トレイ (スノーホワイト)
SA-35TR-SV	交換用トレイ (シルバー)
SA-35TRAIDE-LG	IDE HD用変換トレイ (アルミ・ライトグレー)
SA-35TRAIDE-BK	IDE HD用変換トレイ (アルミ・ブラック)
SA-35TRIDE-LG	IDE HD用変換トレイ (ライトグレー) ※1
SA-35TRIDE-BK	IDE HD用変換トレイ (ブラック) ※1

※1 お得な2個入りセットもあります。

※2 お得な5個入りセット(トレイ用紙製5段ラック付)もあります。

- SA-35TRIDEシリーズにより、IDEハードディスクも本製品で使用できます。ただし、HITACHI IDE HDDは使用できません。



交換用トレイ
(材質: アルミ・ABS)



交換用トレイ
(材質: ABS)



IDE HD用変換トレイ
(材質: ABS)

●ケーブル・アクセサリ

型番	品名
RCL-ESATA-10	eSATAケーブル 約1m
RCL-USB2-01	USB2.0ケーブル 約1m
RSD-PR5BK	トレイ用 紙製5段ラック
RSD-35HC	トレイ用ハードケース
RSO-25HDMT	2.5インチHDマウントキット
RCL-DK-KEY	トレイロックキー (2本)



トレイ用 紙製5段ラック



トレイ用ハードケース



トレイロックキー (2本)

●eSATA/SATAインターフェイス

型番	品名
REX-PE32S	eSATA 2Ports PCI Express Board ※3
REX-PE30S	eSATA PCI Express Board ※3
REX-EX30S	eSATA Express Card/34 ※3
REX-CB15S	eSATA CardBus PC Card
REX-PCI15PM	eSATA PCI Board ※3

※3 ポートマルチプライヤ対応。

- 上記インターフェイスはすべてホットプラグ対応。



REX-PE32S



REX-PE30S



REX-EX30S



REX-CB15S



REX-PCI15PM

●USB2.0インターフェイス

型番	品名
REX-CBU2X	USB2.0 CardBus PC Card
REX-PCIU3	USB2.0 PCI Board (外部3ポート)



REX-CBU2X



REX-PCIU3

9

一般仕様

シリーズ名	REX-SATAシリーズ
型番	SA-DK1EU
名称	eSATA/USB2.0 リムーバブルケース (外付け1ベイ)
対応OS	<p>【eSATA】 ・Windows Vista/XP/2000/Server 2003 ※Vista/XP/Server 2003は、64ビット版にも対応。 ・Mac OS X 10.4以降</p> <p>【USB】 ・Windows Vista/XP/2000/Me/Server 2003 ※Vista/XP/Server 2003は、64ビット版にも対応。 ・Mac OS X 10.2.8以降 ・Mac OS 9.2.2 (MacOS 9.2.2ではUSB1.1での使用となります)</p>
対応機種	<p>【eSATA】 eSATAポートを標準装備、もしくはeSATAインターフェイスカードを搭載したWindows PC またはMac</p> <p>【USB】 USBポートを標準装備、もしくはUSBインターフェイスカードを搭載したWindows PC またはMac</p>
対応ドライブ	3.5インチ SATA対応ハードディスク
インターフェイス	【対HD】 : SATA 【対PC】 : eSATA、USB2.0/1.1
接続コネクタ	<p>【対HD(トレイ内)】 : SATAシグナルコネクタ 7ピン SATA電源コネクタ15ピン (3.3V電源は供給されません)</p> <p>【対PC】 : eSATAコネクタ 7ピンもしくはUSB SeriesB</p> <p>【ケース本体/トレイ接続コネクタ】 : SATAシグナル/電源一体型コネクタ</p>
データ転送速度	【SATA】 : 1.5Gbps (理論値) 【USB2.0】 : 480Mbps/12Mbps (理論値)
LED	<p>【本体電源ランプ】 : 緑色に点灯</p> <p>【トレイ通電ランプ】 : 緑色に点灯</p> <p>【アクセスランプ】 : 赤色に点滅</p>
スイッチ	<p>【電源スイッチ】 : 本体電源のON/OFF</p> <p>【ケーススイッチ】 : トレイ電源のON/OFF (トレイのロック/解除)</p>
電源電圧	AC100 ~ 240V 50/60Hz
ドライブへの電力供給能力	DC 5V/2A、12V/2A
動作環境	温度 : 0~55℃、湿度 : 20~80% (ただし結露しないこと)
外形寸法/重量	192mm(W)×274mm(H)×60mm(D) / 約2.0kg
材質	【筐体部】 : ABS樹脂 【内部シャーシ】 鋼板 (SECC)
カラー	ライトグレー
製品内容	<ul style="list-style-type: none"> ・SA-DK1EU本体 (トレイを含む) ・eSATAケーブル 約1m ・USB2.0ケーブル 約1m ・ACケーブル ・ハードディスク取付ネジ (インチネジ) ×4本 ・ロックキー×2本 ・インデックスシール ・コネクタガード ・ユーザーズマニュアル ・保証書
ソフトウェア	<p>【ダウンロード提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・S.M.A.R.T.コマンド対応HDD温度監視ユーティリティ (Windows Vista/XP/2000用) ・フォーマットユーティリティ (Windows Me用)
保証期間	1年間

※3Gbps対応ハードディスクを接続した場合、1.5Gbpsでの転送となります。

※次のハードディスクは使用できません。「Seagate Barracuda 7200.9 (ST3500641AS)」

※VIA VT8237/VT8237R/VT6420/VT6421L、SiS964/SiS760チップセットのSATAポートでは使用できません。

別途SATAホスト(弊社製REX-PCI15PMなど)をご用意ください。

※Mac OSでeSATA接続する場合、弊社製eSATAインターフェイス (REX-PE32S/PE30S/EX30S/PCI15PM) が必要です。

※eSATAとUSBを同時に接続 (使用) することはできません。

※USB接続の場合、USB2.0でご利用になるには、ご使用のUSBインターフェイスがUSB2.0に対応している必要があります。

※USB接続の場合、本製品に取り付けたハードディスクからOS起動(システム起動/ブート)はできません。

※eSATA接続の場合、本製品に取り付けたハードディスクからOS起動(システム起動/ブート)をおこなうには、ご使用のeSATAインターフェイスがOS起動に対応している必要があります。

※eSATA接続の場合、パソコンを起動したままトレイの交換をおこなうには、ご使用のeSATAインターフェイスがホットプラグに対応している必要があります。

※eSATA接続の場合、NCQ(Native Command Queuing)を使用するには、NCQ対応のハードディスクとホストインターフェイスが必要です。

※本製品の電源は、パソコンの電源と連動しません。

※弊社製REX-Dockシリーズ用トレイは使用できません。

※他社製のトレイは使用できません。

※本製品は日本国内仕様となっており、海外での保守及びサポートはおこなっておりません。

※製品改良のため、将来予告なく外觀または仕様の一部を変更する場合があります。

ラトックシステム株式会社 サポートセンター宛

FAX: 06-6633-3553

お手数ですが、拡大コピーの上必要事項を記入して、FAXでお送りください。

氏名			
会社・学校	※法人登録の方のみ		
部署・所属	※法人登録の方のみ		
住所	〒		
TEL		FAX	
メールアドレス			
製品型番	SA-DK1EU	シリアル番号	
購入店名			
購入年月日			

パソコン機種	メーカー名		型番	
使用OS				
接続ハードディスク	メーカー名		型番	
接続インターフェイス	メーカー名		型番	
質問内容				

提供いただいたお客様の個人情報は、サポート目的のみに使用し、他の目的には使用しません。
弊社の個人情報取り扱いに関する詳細は、弊社ホームページをご覧ください。

<http://www.ratocsystems.com/info/privacy.html>



©RATOC Systems, Inc. All rights reserved.
Printed in Japan